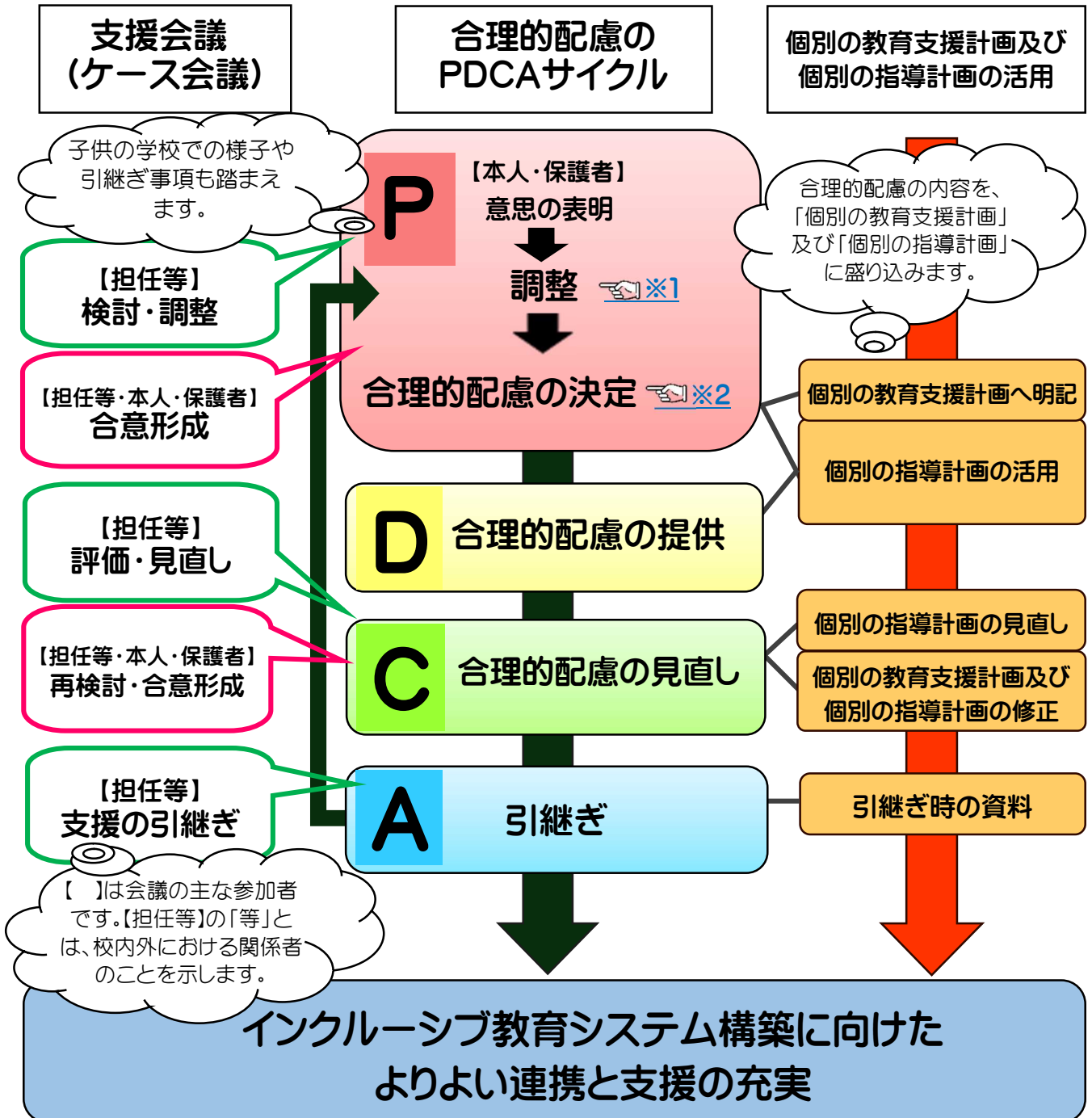


提案1. 「PDCAサイクルの考えを取り入れた合理的配慮のプロセス」

本研究では、合理的配慮のプロセスをPDCAサイクルで考えます。随時、支援会議（ケース会議）を開催し、校内における関係者や保護者と連携を図ったり、PDCAサイクルで個別の教育支援計画及び個別の指導計画を活用したりしながら合理的配慮を提供することで、インクルーシブ教育システム構築に向けたよりよい連携と支援の充実を図ることができると思います。



には、関連する補足資料があります。併せて御活用ください。

※1…補足資料:合理的配慮検討シート

※2…補足資料:合理的配慮シート

本研究におけるPDC Aサイクルの考えを取り入れた合理的配慮の決定や提供、見直し、引継ぎの例を示しています。PDC Aサイクルのそれぞれの段階でどのような取組をしたのか、シートに表して合理的配慮のサイクルが分かるようにしました。以下、それぞれのシートの見方について説明します。

P(調整・決定)シートの見方

P(調整・決定)シートでは、合理的配慮について本人や保護者の意思を把握し、本人の実態や指導目標等を踏まえて、合理的配慮について調整したり、検討したりしながら決定するまでを示しています。

ウ 小学校自閉症・情緒障害特別支援学級(3年)の取組

自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍する小学校3年生の児童に対して、自閉症・情緒障害特別支援学級の担任が、感覚過敏等、児童の実態を踏まえた合理的配慮を提供した事例である。

対象児童は、国語、算数の・・・。
そこで、安心して学校生活・・・。

事例の概要を示しています。対象児童生徒の在籍学級や学習、生活等の様子を記入し、誰がどのような合理的配慮を提供した事例なのか、簡潔に示しています。

1 意思の表明

本人	・国語・算数の学習内容が
保護者	・感覚過敏(音・臭い・食感) ・トイレの付添と水分補給
引継ぎ等	・前年度まで、感覚過敏(音・臭い・光)やこだわりへの配慮として、安心して過ごすことができるための場所の確保や活動内容の調整を行ったことで・・・。

誰からどのような意思の表明があったのかを示しています。本研究では、対象児童生徒に一貫した支援ができるように、「本人」や「保護者」からの意思の表明だけでなく、「引継ぎ等」も取り入れています。

2 調整

実態把握

学習面	・運動機能や活動の切り替えに困難が見られるため、学習活動に時間が掛かる。 ・自分でできることと難しいことを自ら担任に伝えることができる。学年・・・。
生活面	・友達との交流を好んでいる。 ・大きな音(ピストル・太鼓・放送)や叱責の音が苦手である。
人との関わり	・友達とコミュニケーションを図りたいという気持ちが強い。
その他 (生育歴・ 検査等)	・自閉スペクトラム症の診断を受けている。 ・WISC-IIIでは、平均の下の域である。

対象児童生徒の意思の表明の内容に関する実態を示しています。本研究では、「学習面」と「生活面」、「人との関わり」、「その他」に分けて示しています。

検討

対象児童生徒に、どのような合理的配慮が必要なのかを、意思の表明や実態把握した内容、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を基に支援会議(ケース会議)を開きます。検討した時期や参加者、内容等を示しています。

【時期】4月当初 職員会議

【参加者】特別支援学級担任、

【内容】対象児童や保護者の

対象児童は、感覚過敏があることや自・・・。
そこで、対象児童が・・・、以下のような支援を考えた。
①対象児童が家庭学習や授業での書く・・・。
②活動の流れや方法が理解できるよう・・・。

【準備した資料】

・前年度までの個別の教育支援計画及び個別の指導計画

合意形成

検討した合理的配慮の内容について、本人や保護者の合意を得る(合意形成)ために、支援会議(ケース会議)を開きます。話し合いの時期や参加者、合意形成した内容を示しています。

【時期】4月 新学期当

【参加者】特別支援学級担任、交流学級担任、保護者

【内容】検討した①～⑤の支援内容を保護者に提案した。
上記の合理的配慮を提供し、夏休みに見直しをする。

3 決定

本研究では、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を基に長期目標を設定しました。具体的な合理的配慮の内容は、合理的配慮の3観点で整理して示しています。
決定した合理的配慮は個別の教育支援計画に明記します。実践例を御参照ください。

長期目標

- ・国語、算数の基礎的な学
- ・1日の学校生活の流れを理解し、自分で行動する。

①教育内容・教育方法

- ・活動量や課題量への配慮と活動内容の精選をする。

②支援体制

- ・全職員の共通理解の場を定期的

③施設・設備

- ・手すりのあるトイレを使用する。
- ・学習用PCを整備する。

※決定した内容は、個別の教育支援計画及び個別の指導計画、合理的配慮シートに明記します。

* <合理的配慮：3観点11項目>

* 該当する項目に○を付けて下さい。

①-1 教育内容

- () 学習上又は生活上の困難を改善・克服
- () 学習内容の変更・調整

② 支援体制

- () 専門
- () 幼児
- () 災害時等の支援体制の整備

具体的な支援が3観点11項目のどれに当たるのかを○印を付けて示しています。

①-2 教育方法

- () 情報・コミュニケーション及び教材の配慮
- () 学習機会や体験の確保
- () 心理面・健康面の配慮

③ 施設・設備

- () 校内環境のバリアフリー化
- () 発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備
- () 災害時等への対応に必要な施設・設備

本研究では、提供した合理的配慮について、見直しをするために「次回の検討予定日」を設定しています。

次回の検討予定日 (8月下旬)

D(提供)-1シートの見方

D(提供)-1シートでは、P(調整・決定)シートで決定した合理的配慮を実際の指導場面でどのように提供していくのかを、個別の指導計画と関連させながら「学習面」、「生活面」、「行事等」の3場面に分けて示しています。

長期目標

P(調整・決定)シートで決定した長期目標と具体的な支援内容を示しています

- ・国語、算数を中心とした基礎的な学習能力の定着を図る。
- ・一日の学校生活の流れを理解し、行動できるようになる。
- ・体育大会や集会等に参加し、できる活動に取り組むことができる。

決定した合理的配慮

- ・活動量や課題量への配慮と活動内容を精選する。
- ・手順の視覚化とモデルの提示、学習ソフトの活用をする。
- ・毎日の生活の振り返り活動を行い、達成感を感じられるような活動を工夫する。

実際の指導場面における合理的配慮の提供について

①教育内容・方法

場面	児童生徒の目標	
学習面	・3年生の漢字の読み書きができる。	本研究では、決定した合理的配慮の内容を「学習面」、「生活面」、「行事等」の各指導場面でどのように提供するかを示しています。合理的配慮の内容は、個別の指導計画と関連させています。
生活面 (朝の時間) (帰りの時)	・一日の学習の流れを知る。 ・帰りの準備を自分でする	
行事等 (体育大会)	・自分ができる競技に参加する。	

②支援体制

項目	時期	内容
職員研修	5月	・資料を基に、対象児童の障害の特性や支援方法について全体で共通理解する。

③施設・設備

項目	時期	内容
行事 (体育大会)	9月	・体育祭の待機場所について、職員会議で全職員に周知を図り、保護者と一緒に待機する場所を確保する。

D(提供)-2シートの見方

D(提供)-2シートでは、決定した合理的配慮を実際の指導場面でどのように取り入れるのかを具体的に示しています。

合理的配慮の実際

1 合理的配慮の提供場面

算数科「余りのあるわり算をしよう」

2 本時の目標

○わり算の余りを適切に処理する問題を理解して、~~余りを適切に~~処理することがで

本時の学習のねらいを示しています。また、学習形態によっては、対象児童生徒の実態だけでなく、学級の様子も示しています。学級全体への指導と、対象児童生徒への合理的配慮をどのように取り入れるのかについても示しています。

3 合理的配慮を取り入れた本時の授業(活動)について

本時では、前時までの学習で・・・。

本学級に在籍する3年生3名・・・。

対象児童は、計算する学習に・・・。

そこで、意欲的に学習するこ・・・。

本時における対象児童生徒への主な合理的配慮を示しています。

4 対象児童へ提供する主な合理的配慮

提供する合理的配慮

- ・書く活動において、量の調節と時間の確保をする。
- ・活動の流れや内容が理解できるような視覚支援を取り入れる。

合理的配慮に応じた支援は、他の支援と区別するために◎で示しています。対象児童生徒を含めた学級全体への配慮は、☆で示しています。

5 授業の実際 (◎合理的配慮 ☆対象児童生徒を含めた学級全体への配慮)

担任の所感

対象児童


学習活動	取り入れた支援や児童生徒の様子を画像で示しています。	取組の様子
【授業前】 授業を行う前に取り入れた支援を示しています。	☆前時までの学習に提示した。 ☆学習の見通しがもてるように、1時間の学習の流れを黒板の左隅に掲示した。 ◎本時の学習に使うワークシート、数図ブロックなどの準備を一緒に済ませた。 ◎本時の問題の絵カードを机の上に置いた。	具体物を使う学習は、用意を担当と一緒にすることで、本人の活動の見通しやイメージづくりになりました。
1 問題を読み、めあ 23人の子どもが、長いす1きやくに4人ずつずわっていきます。	・問題の絵を電子黒板に拡大して掲示した。 ・実際にいすに座る動作をしながら、子供が同じ数ずつ長いすに ◎分かってい	取り入れた支援によって、対象児童生徒がどのような様子であったか示しています。また、授業者の気づき等も示しています。


D(提供)-3シートの見方

D(提供)-3シートでは、合理的配慮の具体例を写真と文で示しています。

合理的配慮の具体例

どのような合理的配慮をどのような場面で取り入れたのか、対象児童生徒の様子も併せて具体的に示しています。

場面	行事等	体育祭のダンスの事前練習
合理的配慮の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・手順を視覚化したりモデルを提示したりする。 ・自分が参加する種目を練習する機会を少しずつ確保する。 		
 <p>【ダンスの動画を見ながら練習する対象児童】</p>	<p>対象児童は、動きを模倣したり、指示どおりに動いたりすることが難しいことから、まず、ダンスの動きをイメージさせることを心掛けた。</p> <p>そこで、ダンスの動画を電子黒板で提示し、いつでも見ることができるようにした。そして、昼休みや体育の時間等を使って、少しずつ練習し・・・。</p>	

場面	行事等	体育祭の応援練習時への対応
合理的配慮の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・全職員の共通理解の場を定期的に設ける。 ・応援の練習を見合わせる。 		
 <p>【別の活動に取り組む対象児童】</p>	<p>音に過敏で、太鼓や笛の音、大勢の大声に対して情緒不安定になる傾向がある。</p> <p>そこで、1学期の職員会議で知らせ、体育大会の応援合戦への参加を見合わせることを、全職員で共通理解した。全校での応援練習が行われているときは、自分の教室で、イヤーマフを付け、体育大会のポスターを・・・。</p>	

C(見直し)シートの見方

C(見直し)シートでは、P(調整・決定)シートで決定した合理的配慮の内容やD(提供)シートで提供した合理的配慮の成果と課題について検討して見直したことを示しています。今後の合理的配慮について本人・保護者との合意形成の場を設けたことも示しています。

見直し

検討

【時期】 8月

【参加者】 特別支援学級担任、交流学級担任

【内容】 提供した合理的配慮の成果と課題について、対象児童の学習や生活場面の様子を振り返りながら話し合った。

合理的配慮の内容は、定期的に見直す必要があります。本研究では、Pの段階で決定した「次回の検討予定日」に支援会議(ケース会議)を開きます。話合いの時期、参加者、内容を示しています。

成果と課題

提供した合理的配慮の内容について成果と課題を示しています。○は成果で、●は課題を示しています。

○学習面では、電子黒板を活用した。対象児童は、学習の流れや課題への取り組み方が分かりやすくなり、基礎的な学習内容を理解することができた。

○体育大会では、練習や当日の・・・。

●交流学級での学習においても、学習用PCを活用した支援について検討する必要がある。

●手すりのあるトイレが1カ所で・・・。

合理的配慮の変更点

変更した合理的配慮を示しています。

これまでの合理的配慮は今後も継続する。以下の2点については、見直した。

・交流学級の学習場面で、学習用PCを活用する。

・手すりのあるトイレを複数設置する。

合意形成

【時期】 8月末 個人懇談

【参加者】 保護者、特別支援学級

【内容】 検討した成果と課題、変更した合理的配慮について提案した。

今後も定期的に評価、見直しを行い、年度末は次年度への引継ぎについて話し合うようにする。

本研究では、合理的配慮の成果と課題等について本人や保護者と確認し、合意形成を図るための支援会議(ケース会議)を開きます。合意形成後、変更内容を個別の教育支援計画及び個別の指導計画に記入します。

A(引継ぎ)シートの見方

A(引継ぎ)シートでは、対象児童生徒に一貫した支援ができるように、次年度に向けた引継ぎをどのように行ったか引継ぎ方法、引継ぎ内容を示しています。

引継ぎ

本研究では、引継ぎのための支援会議(ケース会議)を開きます。引継ぎの時期や参加者、引継ぎの方法、引継ぎ内容を示しています。

【時 期】 4月 職員会議後

【参加者】 (旧・新)特別支援学級担任、(旧・新)交流学級担任

【方 法】 個別の教育支援計画及び個別の指導計画を基に、下記の引継ぎ内容について話し合いをする。
可能であれば、6月にも同参加者及び保護者を交えて支援会議(ケース会議)を開く。

【内 容】 定期的に見直してきた以下の合理的配慮を引継ぎ内容とした。

- ・活動量や課題量への配慮と活動内容の精選をする。
- ・手順を視覚化したりモデルを提示したりする。

電子黒板や学習用PCを活用する。

生活の振り返り、達成感を味わわせる。

対象児童生徒に一貫した合理的配慮を提供できるように、Cの段階で再検討して合意形成したことを引継ぎ内容としてまとめ、示しています。

成果と課題の見方

PDCAサイクルの考えを取り入れた合理的配慮のプロセスに基づいた取組の実際について、成果と課題を示しています。

成 果

本研究で示したPDCAの各段階や合理的配慮のプロセス全体についての成果と課題を示しています。

○前年度の引継ぎを基にした合理的配慮の決定

前年度の引継ぎ事項を基にして合理的配慮の内容を検討したことで、対象児童の実態とこれまでの支援内容について確認しやすくなり、年度当初の支援の方向性を明確にすることができた。そして、保護者や担任、交流学級担任など複数で話し・・・。

○生活面や行事等での合理的配慮の提供の実践

対象児童は、自分の体を支える力が弱かったり、大きな音が苦手であったりすることなどから、日々の排泄や体育大会などの行事において、合理的配慮の提供が必要であった。対象児童生徒に応じた支援を提供したことによって・・・。

課 題

○PDCAサイクルでの合理的配慮の提供において、保護者及び交流学級担当や他の支援者との連携が大切であると感じる一方で、継続してうまく連携していくために、話合いの持ち方や他の職員への共通理解の求め方を探っていく必要が・・・。

○提供した合理的配慮が、本人の活動への参加や内容の理解に効果的であるためには、本人の実態把握をよりの確に行う必要があると感じる。本人に関わった複数の支援者からの情報をまとめておく必要もあると感じた。さらに、合理的配慮の・・・。

個別の教育支援計画の見方

本研究では、個別の教育支援計画に、合意形成された合理的配慮を関連させることが大切だと考えます。対象児童生徒の個別の教育支援計画と本研究で作成した合理的配慮シートを掲載しています。

個別の教育支援計画

合意形成した合理的配慮に関する部分に下線を付け、個別の教育支援計画及び個別の指導計画と関連付けていることを示しています。

平成 年度 個別の教育支援計画			
記入者名： ○○ ○○ 記入日：平成○○年○○月○○日			
○○立 ○○学校 3年 ○組	校長名 ○○ ○○ 担任名 ○○ ○○		
氏名 ○○ ○○ (男・女)	生年月日：平成○○年○○月○○日		
保護者名 ○○ ○○	家族構成 父、母、姉(中1)、弟(小2)		
住所：〒○○○-○○○○ ○○市○○町○○○ ××××-×	TEL (○○○-○○○-○○○) 緊急連絡先 (○○○-○○○-○○○)		
現在の生活、将来の生活についての願い			
本人の願い	保護者の願い		
<ul style="list-style-type: none"> ・友達と仲良くしたい。 ・<u>宿題を少なくしてほしい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人のわかる言葉で、ゆっくり丁寧に、説明をして伝えてほしい。どんなことでもいいので学校での様子を知らせてほしい。 		
本人の状況(学習面、集団参加・社会性、対人関係・コミュニケーション、他)			
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>課題が多かったり、自分の思うようになかったりすると、泣いたり大声をあげたりする。</u> ・<u>掃除は指示されたことができる。そうきんかけは苦手。</u> ・友達とのトラブル(順番を待てない、たたく、ぶつかると等)がみられる。 		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題に取り組もうとするが、周囲の物音に気が散って長続きしない。 		
地域・関係機関	<ul style="list-style-type: none"> ・弟とはよく外に出て遊んでいる。 		
支援の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・本人のわかる言葉で、納得の行くまでゆっくり丁寧に説明したり、課題を少なくしたりして、やる気を大切にできかわるようになる。 		
主な支援内容		支援者	
学校	学級	担任	
	校内	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の量の調節(学習時間、問題の数等)をする。 ・<u>見通しが持ちやすいように、活動について予告の声をかける。</u> 	
家庭	学級	<ul style="list-style-type: none"> ・嫌な時の表現の仕方(言い方)を、その場その場で教える。 ・友達とよいかかわり方をしている場面では、できるだけほめるようにする。 ・授業中にクールダウンができるスペースを用意する(保健室、相談室)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員 ・養護教諭 ・スクールカウンセラー
	校内	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後5時までは児童クラブで過ごしている。 ・連絡帳、電話連絡、面談等で、学校生活の様子を細かく連絡する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブ指導員 ・担任、母
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・弟とはよく外に出て遊んでいる。 		
関係機関 医療、福祉、 盲・ろう・ 養護学校	<ul style="list-style-type: none"> ・○○センターの教育相談を利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・○○センター ・相談員○○さん ・両親 	
評価及び 引継ぎ事項	<ul style="list-style-type: none"> ・算数では学習の量を調節したことでほとんどの時間取り組めるようになってきた。今後は、国語の時間に取り組めることを増やしていきたい。 ・些細なことでも気持ち不安定にならないように、全職員で声かけの仕方を共通理解する必要がある。 ・週に1回は連絡帳のやり取りができるようになり、家庭での様子が分かりやすくなった。保護者にも学校での様子や支援の方針が伝わるようになった。 ・○○センターの教育相談を4回親子で利用した。 		

Pシート
の内容と
関連して
います。

Dシート
の内容と
関連して
います。

C・Aシ
ートの
内容と
関連して
います。

合理的配慮シート

合理的配慮の内容について、本人や保護者と合意形成したことを確認できるように、日付や名前を示しています。見直しをするための次回検討日も示しています。

【合理的配慮シート】

〇〇学校 〇年 〇組 氏名 〇〇 〇〇

長期目標

・学習や行事等への取り組み方について、対象生徒が主体的に決定できるようにする。
 ・必要に応じて休憩を取りながら、学習や行事等に落ち着いて参加する。

検討日に支援会議等で話し合った結果を評価（継続や変更、追加）として表しています。

提供する合理的配慮	評価
・月、週、日ごとの予定表等を提示する。	継続
・行事の意義等についての説明と取り組み方について決定する時間を設定する。	継続
・休憩時間を確保する。 <i>特別支援学級において、休憩場所や時間を確保する。</i>	変更
・書く量を軽減する。	継続
・書く内容(板書)を明確にする。	継続

検討日に見直した結果、変更や追加した合理的配慮を斜体で表しています。

【提供する合理的配慮を決定した日】

H28年 6月 〇日 児童生徒名 〇〇 〇〇 保護者名 〇〇 〇〇

担任名 〇〇 〇〇 学校長名 〇〇 〇〇

次回の検討予定日 H28年 8月 〇

見直した結果、今後提供する合理的配慮の内容を新しい合理的配慮シートに記入します。

合理的配慮を個別の教育支援計画及び個別の指導計画に盛り込むことが求められています。本研究では、合理的配慮シートを個別の教育支援計画及び個別の指導計画と併せることで、一貫した支援の提供を図ることができると考えます。補足資料に合理的配慮シートを掲載しています。御活用ください。